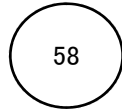


令和 7 年度 学校評価書【学校運営協議会用】( 計画段階 )

福岡県立

筑紫

高等学校



<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>チャレンジ精神と豊かな発想力を備えた、心身ともにたくましい人材を育成する学校 生徒と教師が心を合わせる「師弟同行」の教育により、生徒の夢の実現に取り組むとともに、地域に根ざした探究学習を通して、主体的に未来を切り拓くことのできる人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>「筑紫魂」を胸に宿し、高き理想を掲げ、未踏の世界を切り拓かんとする「志」あふれる未来人財の育成を図る。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>「学びに向かう力・人間性等」を涵養し、社会で必要とされる主体性・自主性・協働性を育む。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>高い「志」を掲げて目標達成のために、本校入学後継続的に学業や部活動・生徒会活動等に全力で取り組む意欲に溢れる生徒を求める。</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>成果 DXハイスクールでは近隣の大学や筑紫野市等と連携をして、生徒の探究活動をより充実させることができた。学校運営協議会では、地域との交流を今まで以上に行うことができ、地域に根差した学校づくりができた。</p> <p>課題 一般入試において、志願者が定員割れの状態となったことに対し、しっかりと分析を行い入試方法の見直しを行うとともに、筑紫高校の魅力を最大限に伝えることができるように広報活動や学校運営協議会等との連携を強化する。</p>	<p>ICTを最大限に活用した授業およびDX教育の推進</p>	<p>生徒の自主性を育み、個に応じた教育活動を充実させ、生徒の学習意欲を喚起するために、教育DXを推進し、生成AIや個別最適学習ツール(スタディサプリ)、タブレット端末等のICTを最大限に活用した教育活動を行う。</p>	
	<p>生徒が主語・主役として学校生活を送ることができる環境づくり</p>	<p>生徒が主語・主役として学校生活を送ることができるように教育環境を整える。さらに、積極性、逞しさ、創造性、他者とのコミュニケーション能力等の「非認知能力」の向上を図り、心身ともに健康な生徒の育成に努める。</p>	
	<p>探究活動の改善とそれを生かした進路支援体制の構築</p>	<p>生徒自らが掲げる「高い志」の実現を図ることができるように、DXハイスクールの機能を十分に活用するとともに教育活動全体において「探究活動」を行い、活動を通して得られた学びの成果を、総合型選抜や学校推薦型選抜等の入試方式に生かして、進路実現を図ることのできる進路指導体制づくりを行う。</p>	
	<p>魅力的な県立高校となるための新学科コース設置の検討、教育課程改編構想、および広報活動の推進</p>	<p>選ばれる魅力的な県立高校であるために、学校行事、校則等の見直しや、新たな学科・コース設置に向けた検討を行い、その際、生徒の願いや思いを積極的に反映させ、生徒にとって魅力ある教育課程づくりを行うとともに、広報活動を通じて取組を広く中学生や保護者、地域に発信する。</p>	
	<p>社会に開かれた教育課程の実現</p>	<p>生徒が誇りとする満足度の高い学校であるために、「学校運営協議会」を運用することによって、心理的に安全な教育相談体制と地域社会との協力体制を強靱なものにし、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	「個別最適な学び」のための 個に応じた指導の推進	自己の能力に応じた最適な学びが行えるよう個に応じた指導を推進する。そのためのツールとしてスタディサプリを活用し、評価についても、個に応じて主体的に取り組む態度を評価する。	スタディサプリの活用状況と満足度調査	
	学習習慣の確立と自走力の 育成	帰宅後1時間以内に学習を開始することを促し、平日2時間以上の主体的な学習ができる生徒を育成する。教科担当・担任・部活動顧問が連携し、生徒の到達度を把握してその向上を図る。	学習時間調査	
総務課	式典を円滑に実施することを通 して、筑紫高校への帰属意識を醸成する。	各部署と連携して早めに企画を立て、様々な学年や部活動に協力をしてもらうことで、生徒たち自身が行事を作り上げている感覚を作り出し、筑紫高校に対する思いを共有する。	創立記念式典の振り返り	
	PTAと連携し、家族や地域の方からの支援を意識し感謝できる生徒を育てる。	PTA総会や各役員会、行事におけるPTAの役割について生徒にきちんと伝えることによって、生徒たちが自分の高校生活を支えてもらっていることに気付き、感謝の念をもつようさせる。	PTA活動に関するアンケート	
広報課	・積極的な広報を実施し、体験入学や各説明会の参加人数を増やす。	説明会の案内チラシや学校案内パンフレットを中学校に配布する。特に、筑紫野市周辺の中学生は、全員に配布する。 中学校や学習塾に訪問し、積極的な広報活動を行う。	・説明会の参加人数 ・説明会後のアンケート ・受験倍率	
	・戦略的で効果的な広報活動を実施する。	HPや公式インスタグラムを活用し、筑紫高校の魅力ある取組みを広く中学生や保護者、地域に発信する。 大きな行事などのインスタライブ配信を実施する。	・インスタグラムのフォロワー数 ・インスタグラムの更新の数	
生徒課	生活習慣の確立と規範意識の徹底、学校活性化に向けたリーダー育成	礼節を重んじる指導を展開。挨拶・時間厳守等の授業規律の指導を徹底。学校行事を通して、生徒会や部活動生を中心としたリーダー育成に重点を置き、連帯感、帰属意識を高める。	学校行事等の振り返り	
	生徒が安心・安全に生活できる環境づくりに努め、いじめのない学校を目指す。	いじめや不登校生徒の予防措置として、全職員による日常の生徒観察、アンケート調査を行い、実態把握に努める。また、いじめ防止対策委員会を効果的に機能させ、初期対応に重点を置く。	いじめアンケート	
保健課	健康・安全・環境に対する意識の向上を図り、生徒の健全な心身育成を目指す。	各種検診等の結果通知や啓発活動、熱中症対策指導、防災避難訓練等を通して、生徒自身の健康や安全に対する意識を高めリスクマネジメントを強化する。	防災訓練の振り返り	
	多様化する生徒の心身の課題解決に向けたよりよい支援を目指す。	1・2学期に「教育相談週間」を設け、担任が生徒理解を深める一助とする。教育相談委員会、スクールカウンセリング(月1～2回程度)等の専門機関を活用し、生徒・保護者に対する支援の充実を図る。	・sc希望調査 ・学校生活アンケート	
進路課	進路課として、進路指導の体制を整える。	3年間を見通した進路課としての方針を確立し、各学年の適切な時期に学年集会や進路行事を実施し、生徒の進路意識を高める。学年や担当教員によらない進路課としての方針を固める。	・志望校調査 ・アンケート	
	課外、講座や動画教材によって個別最適な学びを充実させる。	放課後課外や長期休業中の講座を実施し、実力養成を図る。また、スタディサプリのシラバスを用いて、いつ、どの動画教材を使用すべきなのかをはっきりさせ、生徒の自学の一助とする。	・アンケート ・到達度・活用度テストアンケート	

探究課	探究活動を継続・発展させ、高い志と実践力をもつ生徒を育成する。	近隣の教育機関や自治体、企業と連携し、探究のプロセスやデータサイエンスの視点を重視した取組を実施することで、探究の質を高める。また、これまでの取組を継続・発展させ、大学入試や将来を見据えた体系的なカリキュラムとして確立する。	・探究活動の成果物 ・事前事後アンケート・生徒の振り返り ・外部評価（自治体・教育機関等による講評）	
	主体的に自己のキャリア形成を考え、社会の変化に対応できる生徒を育成する。	社会人講演会・佐賀大学研修・同窓生座談会等とおして、自分のキャリア形成に興味・関心をもち、主体的に考えられるよう促す。また、校外研修や探究活動の成果を校外に発信する機会を充実させることで、生徒の成長を促すとともに、参加意欲の向上を図る。	・各取組の生徒・職員アンケート ・外部評価（各研修）	
研修課	教科教育力の向上と情報の共有	学年や教科の枠を越えて、教科教育や進路指導の情報共有・継承ができるように相互授業参観、職員研修を計画・実施する。研究紀要を電子発行し、閲覧・利用しやすく工夫する。	・PTA大学訪問に関するアンケート	
	生徒の読書活動の推進	作品懸賞に積極的に参加し、生徒の知的情報発信力を高める。図書館の本と同時に、県立図書館の電子書籍の利用や、「筑紫の百選」の改訂などを行い、読書活動を推進する。	・読書活動に関するアンケート	
DX推進課	生徒一人一台端末の更なる活用を進め、教育DXを推進する。	生徒一人一台端末やその他ICT機器を管理・運用し、教育のDX化を推進するための環境整備を滞りなく行う。授業支援ツールを導入し、生徒のICT活用能力高める。	・タブレット端末活用調査	
	教育や校務のDX化を推進するとともに校外に向け情報発信を行う。	教員のニーズに応じた授業支援ツールの導入と活用のための職員研修を行う。教育DXについて広報課と連携し、学校HPやInstagramで発信する。	・職員向けアンケート	
1年	高校生活に必要な基本基本の確立	筑紫Basicを通して基礎基本を身につかせ、高校生活への移行がスムーズにできるようにする。何事にも積極的に関わりチャレンジできる環境づくりを行う。	・筑紫Basic振り返り	
	さまざまな知見から将来を見据えた学習習慣の確立	・総合的な探究の時間や校内、校外における研修をはじめとする探究活動を推進することにより、社会的課題への探究心を育成し、学問を深めることや上級学校へ進学することの意義を見出す進路学習を充実させる。	・進路希望調査 ・アンケート	
2年	自ら志を立て、行動を定め、進み続ける力を育成する	総合的な探究の時間をはじめとする探究活動を推進し、自身の進路目標達成に必要な方向性を定めさせる。また、前例のない活動に対しても積極的に参画する創造力を培う。	・進路希望調査 ・ポートフォリオ	
	自己肯定感や自己有用感を高める	学校行事や部活動等における役職経験とおして、自己有用感を高める。また、スタディーサプリの活用等により、個別最適な学びを支援し、生徒の学習における成功体験を増やす。	スタディーサプリアンケート	
3年	最上学年として学校行事を通して自己肯定感を育む	学校行事や部活動などとおして教師が生徒を子ども扱いせず、対等に社会的価値観を共有し、尊敬し合える生徒と教師の関係性を構築するために協働的視点からの指導を行う。	スタディーサプリアンケート	
	希望進路実現に向けての自己完遂力の育成	自分で決めた目標や課題を、自ら計画的に実行し、最後までやり遂げる力である「自己完遂力」を育成するために、「自律」「継続」「完遂」を学年テーマとして生徒に浸透させる。	進路希望調査	
事務室	生徒が安心して学べる施設設備の管理	大規模改修工事に係る情報を定期的に提示し共有することで、安全配慮に努める。 施設に関する学校の懸案を具体化し、大規模改修工事の担当部署との協議を通して、より安全で使いやすい校舎となるよう努める。	安全配慮に関する調査	
	効率的かつ効果的な予算執行	学校行事、施設管理状況及び教育環境の整備等を踏まえ、優先度を考慮した予算執行に努める。	意見交換	